

「第3次相模原市観光振興計画の改定」に関する パブリックコメント手続の実施結果について

1 概要

「第3次相模原市観光振興計画」(以下「本計画」という。)は、シティプロモーションの重要性が問われる中、本市の都市と自然の魅力を伝えるとともに、様々な資源を個性として際立たせる視点を持って、本市を取り巻く環境の変化に対応しながら、今後の観光振興の方向性を明確にし、必要な施策を着実に推進するため、令和2(2020)年3月に策定しました。

本計画は、令和5(2023)年度をもって、策定から計画期間の中間となる4年を経過しますが、この間、新型コロナウイルス感染症の流行、これに伴う密を避けた個人旅行や近場での旅行(マイクロツーリズム)といった新たな観光需要の顕在化など、本市の観光を取り巻く環境が大きく変貌しています。

このことから、残りの計画期間において取り組むべき施策や事業を明確にするため、本計画の改定を行うものです。

この度、計画を改定するに当たり、市民の皆様からのご意見を募集しました。

その結果、2人の方から7件のご意見をいただき、お寄せいただいたご意見の内容及びご意見に対する本市の考え方を次のとおり公表します。

2 意見募集の概要

- ・ 募集期間 令和5年12月15日(金)～令和6年1月22日(月)
- ・ 募集方法 直接持参、郵送、ファクス、電子メール
- ・ 周知方法 市ホームページ、広報さがみはら、窓口等への配架

資料の配架場所

観光・シティプロモーション課、各行政資料コーナー、各まちづくりセンター(城山・橋本・中央6地区・大野南まちづくりセンターを除く) 各出張所、各公民館(星が丘公民館、沢井公民館を除く) 各図書館、市立公文書館

3 結果

(1) 意見の提出方法

意見数		2人(7件)
内 訳	直接持参	1人(6件)
	郵送	0人(0件)
	ファクス	0人(0件)
	電子メール	1人(1件)

(2) 意見に対する本市の考え方の区分

ア：計画（案）に意見を反映するもの

イ：意見の趣旨を踏まえて取組を推進するもの

ウ：今後の参考とするもの

エ：その他（今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる意見など）

(3) 件数と本市の考え方の区分

項目	件数	市の考え方の区分			
		ア	イ	ウ	エ
第6章 基本施策に関すること	3			3	
その他	4				4
合計	7			3	4

(4) 意見の内容及びご意見に対する本市の考え方

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
第6章 基本施策に関すること			
1	<p>市内にはサッカー、ラグビー、アメリカンフットボールのホームタウンチームがあり、相模原ギオンスタジアムで試合を行っています。</p> <p>試合がある時は相手チームのファンが多く訪れると思いますが、試合観戦だけでなく、市内観光にも訪れてもらいたいと思います。</p> <p>相手チーム事務所やサポーターへたびまへの情報提供を推し進めてよいのではないかと考えます。</p>	<p>ホームタウンチームの試合は、相手チームのファンが本市へ来訪するきっかけであり、来訪される方々に本市の観光スポットなどPRすることは大変効果的であると考えます。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、本計画（案）の基本施策に掲げる「ターゲットに合わせた情報発信の推進」の取組を検討していく上で今後の参考とさせていただきます。</p>	ウ
2	<p>城山湖周辺の山道の整備計画について、城山湖発電所前にある雄龍籠山(ボンデン山)の山道整備を行い登りやすくし、山頂には山頂の標示をしていただき、雄龍籠山と雌龍籠山の城山地区の新しいルート案内に載せていただきたい。「W龍籠山頂ゲット」達成を目指す案内を追加してほしい。</p>	<p>龍籠山は眺望が良く、また、小原宿本陣は市内にある歴史的な施設であるため、来訪いただきたい観光資源であると考えています。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、本計画（案）の基本施策に掲げる「観光ホスピタリティの</p>	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
3	<p>小原の郷と本陣への駐車場案内板を。 広報や地域のチラシやパンフレットに本陣祭りの大きなイベントがあるが、いざ本陣はどこにあるかと聞かれると分からない人が多いのではないのでしょうか。20号線の東京方面から相模湖へ向けてくると通り過ぎてしまうことが多い。別紙の地図を参考に、道路沿いに看板標示したらいかがでしょうか。</p>	<p>向上」の取組を検討していく上で今後の参考とさせていただきます。</p>	ウ
その他			
4	<p>リニア駅新設で橋本を海外の人々や全国の人が集まるまちにするには、鳥屋車両基地への回送線の「旅客線化」により、津久井の発展とともに相模原発展に寄与することは間違い無い。 「降りたくなる相模原へ」を合言葉に、神奈川県・相模原市全体の目標としたい。</p>	<p>回送線の旅客線化は、需要や採算性の確保などの課題がありますが、地域の活性化や観光振興に繋がるものと認識しております。 神奈川県や周辺自治体との連携を図るとともに、中長期的に粘り強く取り組んでいく必要があると考えております。</p>	工
5	<p>橋本駅周辺開発計画では、人のたまる場所、休まる所（空間）がなく、通行・交通の利用だけで人が集まる場所がない。地上に道路をつくるのではなく、「地下利用」を推進すべきで、駐車場・人・車道を整備すべき。又、地下道を使って近隣のマンション利用者の行き来にも利用できるようにする。駐車場代金は現在高すぎるので、下げるべきである。でなければ何を造っても人は集まりません。 駅前には広い公園を、車は地下道を利用すること、車中心の道路の駅前には、人は集まりません。</p>	<p>いただきましたご意見につきましては、リニア中央新幹線神奈川県駅（仮称）周辺における観光交流の場の創出の検討をしていく上での参考とさせていただきます。</p>	工
6	<p>歴史的な名所も少ない中、歴史ある相原高校にあった1,000本近くの木々を伐採され、市民の宝である「クスノキ」のみとなりましたが、是非、リニアの玄関口に「クスノキ」を中心とした憩いの広場を造るべきです。 歴史ある景観を配慮し、景観文化の醸成を願いたい。</p>	<p>橋本駅南口周辺のまちづくりでは、緑と憩いの軸において、ゆとりある歩行者空間を生かし、植栽を連続して配置することで緑を身近に感じられる開放的な空間を形成します。</p>	工
7	<p>大地震が関東にも来ると言われ、防災訓練が実施される時代にも関わらず、高層マンション</p>	<p>いただきましたご意見につきましては、まちづくりや危機管理に</p>	工

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	<p>を建てるとも言われますが、震災が発生し崩落した場合、誰が責任を取るのでしょうか。震災費用は、市の責任で税金で払うのでしょうか。</p> <p>市民としては、駅前に高層マンション兼用の建設は反対です。</p>	<p>係る施策を検討していく上での参考とさせていただきます。</p>	